

## 会 議 録

- 1 会議名  
令和7年度 阿賀野市立吉田東伍記念博物館協議会
- 2 開催日時  
令和8年3月26日（木）午後1時50分～午後3時30分
- 3 開催場所  
阿賀野市安田交流センター「風とぴあ」 3階大会議室
- 4 出席者の氏名（敬称略）
  - ・委員 吉田直彦（安田小学校長）、百都政弘、五十嵐正美、廣田正博（6名中4名出席）
  - ・事務局 小泉教育長 塚野博物館長（生涯学習課長） 廣川課長補佐 成海博物館係長  
渡邊会計年度任用職員
- 5 議題
  - (1) 令和7年度事業報告並びに調査研究報告について
  - (2) 令和8年度事業計画（案）について
  - (3) 常設展示のリニューアルについて
- 6 非公開の理由  
なし
- 7 傍聴者の数  
0人
- 8 協議の内容

### （成海）

それでは、約束の時間よりは少し早いですが、出席を予定されている皆様がお揃いになりましたので、ただいまより令和7年度「阿賀野市立吉田東伍記念博物館協議会」を開催させていただきます。進行を務めます吉田東伍記念博物館の成海です。よろしくお願いたします。

なお、本会議は「阿賀野市審議会等の会議の公開に関する要綱」第2条が定めるところの審議会でございますので、本日の会議は市民の皆様公開いたします。また、会議録作成のため、本協議会の議事を録音させていただきました。会議録につきましても、後ほど市のホームページ上で公開いたします。ご了解いただきたいと思います。

それでは、始めに、当協議会五十嵐会長より開会のご挨拶をよろしくお願いたします。

### （五十嵐会長）

五十嵐でございます。本日は皆様からお忙しいところ、会議にご出席いただき、誠にありがとうございました。私、博物館友の会の会長も務めておりますが、念願であったNPO法人として、この度認可が下り、この4月からは、NPO法人としての活動をスタートできることになりました。組織体制がしっかりしたことで、今後はより一層博物館の活動や運営等に協力することができるのではないかと考えております。吉田東伍がこの地に生まれ、偉大な業績を上げたことにより、吉田東伍記念博物館が設置されたわけですが、博物館の役割としては、彼の業績を広く知っていただくことと合わせ、地域の文化の拠点として、様々な地域住民と密接に関わっていく、そんな役割があると思っております。

そのような中、私にも孫がおりますが、子どもの数が非常に少なくなっている、子どもの数が少ないというこ

とは、どんどん人口が減少している、少子化・人口減少が進む中、少しでも多くの方から博物館に来館していただく努力をし、併せて来館された方の満足度を向上させる工夫も必要ではないかと考えております。

本日は、令和7年度の事業報告や令和8年度の事業計画などにつきまして、委員の皆様から忌憚のないご意見をいただき、今後の博物館活動がより活発になればと思っております。

本日は、どうぞよろしくお願いいたします。

(成海)

五十嵐会長、ありがとうございました。

つづいて、小泉教育長、ご挨拶をよろしくお願いいたします。

(小泉教育長)

皆様、ごめんください。本日はご多用の中、令和7年度吉田東伍記念博物館協議会にご参集いただきまして、心から感謝申し上げます。ありがとうございます。

皆様方は日頃からの活動を通して、阿賀野市の誇りである吉田東伍先生の業績・作品等をひも解きながら、その偉大な功績を研究したり、偲んだりしながら、広く人々に紹介するための方策を協議し、その実現にご尽力くださいました。

また、少子化が進む中ではありますが、阿賀野市の未来を担う子どもたちに、ふるさと阿賀野市に対する愛着の形成が重視される中、阿賀野市の魅力の一つとして、郷土が生んだ偉人、吉田東伍の偉大な功績を伝えようとしているご努力についても、感謝申し上げます。

昨年度は、安田小学校での周年行事でも講演をしていただいたということで、学校教育に携わる私どもといたしましても、大変ありがたく、感謝申し上げます。

令和8年度、市といたしましても、主要事業の一つとして、「吉田東伍記念博物館事業」を掲げております。一層博物館事業を充実させ、企画展等を開催して、多くの人々に来館していただきたい、また先ほど五十嵐会長もおっしゃっていましたが、来館者の満足度の向上も目指してまいりたいと考えております。

本日は、これより令和7年度の事業報告と令和8年度の事業計画案をご協議いただきますが、どうぞ忌憚のないご意見を賜り、よりよい計画を練り上げていただければ、幸いです。

本日は、どうかよろしくお願いいたします。

(成海)

小泉教育長、ありがとうございました。

最後に塚野博物館長、ご挨拶をよろしくお願いいたします。

(塚野博物館長)

博物館長を仰せつかっております塚野と申します。よろしくお願いいたします。

今ほど、五十嵐会長、小泉教育長のご挨拶にもありましたとおり、日頃より委員の皆様から博物館に対し、いろいろな面でご支援・ご協力をいただいております。心より感謝申し上げます。

本日の協議会は、事業報告、事業計画、そして3つ目の議題として常設展示のリニューアルを議題に掲げております。

平成9年9月17日に開館し、この博物館はスタートしたわけでありませけれども、長き年月が経過し、そのような中で新たな形、施設の在り方を含めまして、委員の皆様からご意見をいただきたいと考えております。

(成海)

塚野博物館長、ありがとうございました。

それでは、早速議事に移りたいと思いますが、事前に副会長の岩野委員、安田中学校長の梅津委員の2名より、所用のため、欠席のご連絡をいただいております。したがって、委員総数6名中、4名の出席であり、過半数を満たしておりますので、協議会条例第5条第2項に基づき、本会が成立いたしますことをご報告いたします。

また、条例第5条第1項により、本会の議長は会長が務めることになっておりますので、以後の議事進行につきましては、五十嵐会長よりお願いいたします。

(五十嵐会長)

それでは、議長を務めさせていただきます。

スムーズな議事運営となりますよう、委員各位のご協力をお願いいたします。

第1号議案 令和7年度事業報告並びに調査研究報告につきまして、事務局より説明をお願いします。

(成海)

それでは、第1号議案 令和7年度事業報告について、説明いたします。

資料1をご覧ください。

令和7年度につきましては、一覧表に記載のとおり、事業を行いました。

特別企画展につきましては、蔵書をほとんど持たなかったと伝えられる吉田東伍が秘蔵していた書籍とその内容を紹介する企画を予定しておりましたが、資料調査・整理が難航し、今年度の開催を断念し、次年度に延期することといたしました。

夏休み子ども博物館につきましては、これまで同様に、夏休み期間中である7/25(金)から8/31(日)の期間、小中学生に博物館を無料開放いたしました。期間中の利用者は13名でした。

特別講座につきましては、吉田東伍の弟である高橋義彦が編さんした『越佐史料』刊行から100年を記念し、「高橋義彦と『越佐史料』」と題し、こちら安田交流センター「風とびあ」を会場に、8/9(土)、9/27(土)の2回シリーズで実施いたしました。受講者の累計は60名でした。

歴史講座につきましては、「阿賀野のあけぼの partⅢ」のタイトルで、地質学的観点から阿賀野の成り立ちについて学ぶ内容で行いました。会場は阿賀野市ふれあい会館で、受講者は16名でした。本来なら、地質学的に特徴のある市内各所を回る現地踏査を予定しておりましたが、クマの出没・目撃情報が多発しておりましたので、座学だけの講座となりました。

博物館・友の会の共催で継続事業である星空への招待2025は9/13(土)に開催し、34名の参加がありました。土星を観測する内容で実施しましたが、天候が危ぶまれるなか、何とか観測することができました。

同じく博物館・友の会の共催事業である市民文化講演会2025につきましては、講師との日程調整がつかなかったため、令和8年4月に市民文化講演会2026として開催することといたしました。詳細につきましては、令和8年度事業計画(案)でご説明いたします。

以下、これまでの継続事業である「収蔵資料の保存・管理」「学校教育支援・生涯学習支援」「他博物館、大学

研究室等の研究機関との連携・相互支援」「研究・活動成果の報告・公開・刊行、SNSによる情報発信」につきましては、これまでと同様ですが、「学校教育支援・生涯学習支援」につきまして、令和7年度は安田公民館主催の公民館講座と安田小学校の創立記念事業に職員を講師として派遣いたしました。

最後、下段にお示した友の会主催、博物館共催によるTMEコンサート、研究発表会につきましては、この3月14日、会場がこの安田交流センター「風とぴあ」で実施いたしました。

次に、資料2をご覧ください。

令和7年度の入館者数、月別のグラフ、頒布品の販売実績をお示しました。

入館者数は2月末現在ですが、令和6年度と比較し、約1割、150名程度の減となっております。減少した要因といたしましては、予定していた企画展の調査・研究が難航し、企画展を実施できなかったこと、また企画展準備のため、2階研修室が使用できないため、博物館講座などの事業が博物館ではなく、「風とぴあ」やふれあい会館などの別会場で実施せざるを得なかったことによるものと考えております。

頒布品の販売実績につきましては、博物館叢書6の刊行が新潟日報に大きく取り上げられたことにより、博物館での直接販売だけでなく、郵送による販売が増え、昨年度より大幅に増額となっております。

令和7年度の事業報告につきましては、以上となります。

つづいて、調査研究報告につきましては、職員の渡邊より説明いたします。

(渡邊)

本来であれば、令和7年度事業として、この企画展は実施するつもりでしたが、吉田家より、東伍が晩年に蒐集していた資料、医学書になりますが、大量に博物館に来まして、その資料を皆様にお示しする内容で考えておりました。最初は安易に考えておりましたが、中身を見ると大変な資料であることが判明し、少し時間をかけて取り組むべきと考え、現在も調査・研究を続けております。

本日、お手元にお配りいたしました「吉田東伍の医学書コレクション」の概要、メモをご覧ください。

これまで、吉田東伍が医学の研究をしていたことは、どこにも出てきていませんので、少したじろいなのですが、日本の医学に関する資料、一次資料が大量にあった、版本、印刷物と古写本、手で書いたもの、写本というのは写したものだけではなくて、自分で書いたものも写本というのですね、書誌学的には。人の書いたものをコピーする写本と直筆で書いたもの、いずれも写本というのですね。それを踏まえ、吉田東伍のコレクションの写本は、その一定の人が直接書いたものと写したものの2種類あります。昨年の5月に持ってきましたが、博物館2階の研修室に搬入し、7月から8月に燻蒸処理を行い、引き続き整理作業を行い、2026年春の企画展に向け、分析調査中となっています。

資料の概要といたしましては、資料の点数が全部で60種。巻数で422巻、冊数で318冊。巻数が多いのは、例えば、1巻から10巻まで1冊になっているようなものもあるためです。このうち版本、印刷されたものが50件、写本が10件で、ほとんどの場合、吉田東伍の判子、蔵書印が押印されていました。資料の年代はおおむね16世紀から19世紀のもので、一部明治時代のものもあります。確実に年代が特定できる最古の版本資料は室町時代後期に日本で初めて出版された医学書、そのものがありました。全国にこの本は20～30部確認されていますが、新発見になると思います。写本で最も古く、年代が特定できたもので安土桃山時代の初期、吉田宗恂というお医者さんが直接書いたものがあります。『南北経験医方大成論』という資料ですが、これは宮内庁の書陵部に、同じ資料でこれよりも新しいものがありますが、この点からも、本資料は文化財指定になるような資

料であると思われます。そのほかにも「新発見資料」となるものが複数あると大きくりにしていますが、もしかすると室町時代よりも古い時期に写したと思われる資料があります。参考配布でお配りした冊子の最後のページをご覧ください。『黄帝内経太素』という写本ですが、この写本の様態が、今現在重要文化財となっているものとほぼ同じ様態です。ここに押されている判子は奈須恒徳という人の判子で「久昌院蔵書」という文字ですが、奈須恒徳という人物は江戸時代の医学書の研究者であるため、少なくともこの本は18世紀よりも前の時代のものになります。加えて、博物館においてになった国語専門の大学の先生から見ていただいたところ、この文字は古体、極めて古い時代のものであり、場合によっては平安時代まで遡る可能性があるとのことで、そうなれば、本資料は間違いなく、文化財に指定される資料といえます。

このようなことがあるので、なかなか資料整理が進まず、企画展を延期せざるを得ませんでした。

また、インターネットやAIを活用し、資料調査を行っても、ネット上にあがる資料ではなく、一つ一つ手作業で確認するしかないのが、難渋しており、最終的には専門家から確認してもらいたいと考えています。ただ、新潟県内には専門の先生がいないので、中央の専門の先生ということになろうかと思っています。

企画展の企画につきましては、お配りしました企画書のとおりですが、まだ専門家の先生から見られていないため、日付のところはやむを得ず、空欄にしてあります。専門の先生から見られれば、自信をもって企画展として公開できるのではないかと考えています。

調査研究報告は、以上です。

(五十嵐会長)

第1号議案 令和7年度事業報告並びに調査研究報告の説明が終わりました。

委員の皆様、ご意見・ご質問はございませんか。

(廣田委員)

今、企画展に向けた調査・研究の報告を聞き、年度が変わった春ごろの開催でも難しいように思いますが、前期と後期に分け、全体を見てもらう予定ですか？

(渡邊)

メインとなるものについては、期間を通して展示し、その他資料については、調査が終了したものから順に展示し、前期・後期で資料の全体像をご覧いただく予定です。

(五十嵐会長)

博物館講座「阿賀野のあけぼの」はクマ出没・目撃情報多発により、現地踏査が実施できずに残念でした。

現地を歩き、歴史の痕跡に触れていただく、大変有意義な内容であるので、機会があれば、ぜひ計画してください。

(成海)

多発するクマの出没・目撃情報に加え、講座当日も会場の隣の自治会でクマの目撃情報があったため、やむなく現地踏査を中止しました。講座の申込者には、できる限り座学のみ講座に変更しますとアナウンスしました

が、現地踏査を楽しみにしていた方も多かったので、今後とも状況を見ながら、同様の博物館講座を計画したいと考えております。

(五十嵐会長)

ほかにご意見、ご質問がないようですので、第1号議案 令和7年度事業報告並びに調査研究報告につきまして、ご拍手でご承認をお願いします。

〈 拍手・承認 〉

(五十嵐会長)

ありがとうございました。

つづきまして、第2号議案 令和8年度事業計画(案)につきまして、事務局より説明をお願いします。

(成海)

それでは、資料3をご覧ください。

令和8年度につきましては、一覧表に記載のと通りの博物館事業を計画しております。順に説明いたします。

最初に、特別企画展ですが、今ほど調査研究報告でもお伝えしたとおり、5月から8月の期間で計画いたしました。

つづいて、博物館講座ですが、令和8年度につきましては、新潟県立歴史博物館の出前講座に応募したところ採択され、11月15日に市民向けの歴史講座「阿賀北の戦国時代と越後文書宝翰集」と題し、計画いたしました。なお、博物館講座につきましては、受講者のニーズを踏まえながら、当講座以外にも検討し、開催したいと考えております。

次の市民文化講演会ですが、これも令和7年度は実施できませんでしたが、お示しのとおり4月25日に市民文化講演会2026として「吉田東伍を生んだ郷土の風土」の演題で実施いたします。講師には、新潟青陵大学特任教授の伊藤充先生にお願いしており、共催である博物館友の会にとっては、NPO法人を設立して最初の事業となります。

次は新規事業となりますが、安田八幡宮の例祭に合わせ、博物館の夜間無料開放を行う「ナイトミュージアム」を計画いたしました。

夏休み子ども博物館につきましては、子ども博物館事業の一環として、例年どおり夏休み期間中、小中学生を対象に、博物館を無料開放し、校外学習のサポートをしたいと考えております。また、今回、子ども博物館事業として、子ども博物館講座を新たに計画いたしました。令和8年度につきましては、6月13日に五頭連峰少年自然の家との連携事業として、岩石標本づくり講座を、8月1日には移動博物館と称し、新潟市アグリパークへ出向いての体験講座を計画いたしました。

星空への招待2026につきましても、博物館友の会天文部の皆さんよりご協力いただき、9月12日に開催したいと考えております。

最後に、収蔵資料の保存・管理、以下4項目につきましては、これまでどおりの通年事業となりますが、他博物館との連携、相互支援につきましては、すでに新潟市美術館で開催予定の竹久夢二展に関して、当館所蔵資料

の提供などにつきまして、新潟市美術館と打ち合わせ、協議を開始しております。

以上が、令和8年度の博物館の事業計画となりますが、このほかに、例年どおりとなりますが、博物館友の会の主催、また博物館との共催によるTMEコンサート、研修旅行、研究発表会などが予定されております。

令和8年度事業計画（案）につきましては、以上となります。

（五十嵐会長）

第2号議案 令和8年度事業計画（案）の説明が終わりました。

委員の皆様、ご意見・ご質問はございませんか。

（廣田委員）

安田八幡宮例祭に合わせ、ナイトミュージアムや星空への招待が計画されているが、日程は9月12日（土）が確定しているのか。安田八幡宮に確認したか。

（成海）

まだ確認していませんが、確認のうえ、日程につきましては安田八幡宮例祭に合わせます。

今回、ナイトミュージアムを計画した意図として、お祭りが以前ほどの活気がなく、静かなものになりつつあることから、町の中にある博物館として少しでも賑わいを創出したいと考えたものであり、博物館の夜間無料開放、星空への招待に加えて、何ができるか検討したいと考えています。

（廣田委員）

9月12日だと、月齢が新月となり、観測ができないので、実施内容を再考しなければならないと思っています。

宵宮が閑散としているので、ナイトミュージアムに合わせ、キッチンカーを出店させるなど、活気がある活動になればよいと思います。

（吉田委員）

市民文化講演会につきまして、「吉田東伍」という人物だけでなく、その人物を生んだ風土、背景にフォーカスした内容となっており、大変有意義な活動になるのではないかと思います。

また、令和7年度は安田小学校の教職員全員で博物館を見学させていただき、吉田東伍に関する説明をしていただきました。教職員のほとんどは市外から来ており、初めて知ることができたとの声もあり、大変有意義な活動となりました。その後、学校の創立記念日である1月15日に全校児童対象の記念講演をしていただきました。先輩である「吉田東伍」に対して、子どもたちは関心を持ち、誇りに思いながら、講話を聴かせていただきました。「吉田東伍」は非常に大切な地域資源であると思っております。

今後も、このような活動をお願いしたいと思いますし、学校サイドでもこのような場が持てればと考えています。

(成海)

安田の小学校・中学校は身近なので、地域資源として取り組みやすいと思いますが、他の地区の小中学校にはまだまだ周知していく余地があると思っております。今後も念頭に置きながら、博物館運営をしてみたいと考えております。

(百都委員)

竹久夢二は新潟県では出湯温泉にしか訪れておらず、大変ゆかりがあります。ぜひ新潟市美術館の展覧会も参考にしてほしい。

(廣田委員)

SNS を活用した情報発信をもっと工夫したり、間口を広げたりして発信してほしい。

関連して、検索サイトで「新潟県内の美術館・博物館」と検索しても、トップに吉田東伍記念博物館が出てこないの、運営サイトと折衝したりして、トップで出てくるような試みをしてもらいたい。

(成海)

SNS やホームページを活用した情報発信は、館単独ではなく、市全体の情報発信を行う部署と協議、調整をする必要があり、情報がタイムリーにならないことも多いです。

情報がフレキシブルに発信できるように、博物館友の会とも連携しながら、どのような方策がとれるか、今後の課題とさせていただきます。

(百都委員)

新潟日報の紙面でも、「新潟県の美術館・博物館ガイド」の欄があるが、吉田東伍記念博物館は載っていない。依頼して掲載してもらってください。

(成海)

機会を見て、依頼したいと思います。

(吉田委員)

わかりやすいガイドブックやQRコードを活用したクイズなど、子どもたちや大人でもよくわからない人が、簡単に学ぶことのできる工夫をしてほしい。

(成海)

検討してみります。

(五十嵐会長)

企画展を開催すれば、話題となり、数多くの様々な方から博物館を知っていただき、来ていただくことができと思うので、従来の広報活動だけでなく、テレビなどをうまく活用して広く広報してほしい。

(成海)

企画展開催の準備が整えば、これまでと同じように報道発表を行います、より報道機関の注意を惹く手法を検討したいと思います。

(五十嵐会長)

ほかにご意見、ご質問がないようですので、第2号議案 令和8年度事業計画(案)につきまして、拍手でご承認をお願いします。

〈拍手・承認〉

(五十嵐会長)

ありがとうございました。

つづきまして、第3号議案 常設展示のリニューアルにつきまして、事務局より説明をお願いします。

(成海)

それでは、資料4をご覧ください。

昨年の本会議でも話題となりました博物館のリニューアルにつきましては、別紙のとおり基本方針(案)を策定し、現時点では、市長はじめ市役所内部におきまして、共通認識している状況にあります。つきましては、協議会委員の皆様からも、細部につきまして、ご確認いただきますとともに、今後の進め方につきまして、ご意見を賜りたいと考えております。

最初に、基本方針(案)につきまして、ご説明いたします。

令和9年度の開館30周年を目途にリニューアルを行うというのが、大きな骨子になりますが、上段オレンジで囲んでいる箇所がその趣旨となります。

中段のブルーの矢印で、今後想定される作業、スケジュールを示しております。

最後にリニューアルの概要(案)として、10項目を掲げました。青色の⑨館内照明のLED化と⑩駐車場の改修、いわゆるハード事業になりますが、こちらにつきましては、すでに令和8年度の当初予算に計上いたしました。残り8項目のうち、赤色でお示ししました4項目につきまして、今後優先的に取り組んではどうかということで、順序立てをいたしました。なお、本リニューアルと合わせ、館蔵資料の整理・保存事業につきましても市長からの指示がありましたので、並行して実施していくこととしております。

次に、今後の進め方についてです。

事務局としては、新たに「リニューアル検討委員会」を設置する案と、「リニューアル検討委員会」は設置せず、当協議会で検討、作業を進める2案を立案いたしました。

新たに「リニューアル検討委員会」を設置する場合につきましては、今後要綱の制定や委員の人選が必要となりますので、本会が兼ねる場合よりも時間がかかることとなります。

また、今後のスケジュールにつきましては、基本方針(案)のとおり、令和9年度に展示替え作業を行うには、令和9年度予算に予算要求する必要があるため、この秋ころまでには大まかな展示計画が決まっている必要

があります。

以上の点を踏まえ、常設展示のリニューアルにつきまして、委員の皆様のご意見をいただければと思います。

(五十嵐会長)

第3号議案 常設展示のリニューアルにつきまして、説明が終わりました。

委員の皆様、ご意見・ご質問はございませんでしょうか。

(吉田委員・百都委員)

時間的な余裕を考えると、新たな「リニューアル検討委員会」を設けず、本拠議会において、検討、作業を進める案が良いと思いますが、様々な方からの意見を聞くことも必要ではないかと考えます。

(廣田委員)

本日、欠席のお二人も加われば、十分な体制をとれると思いますし、委員それぞれが友の会をはじめ、いろいろな人の意見を持ち寄れば、本協議会で検討、作業することは可能だと思います。

(成海)

事務局としても、2案を提示しましたが、新たに別の会を立ち上げるにしても、メンバーが重複することや準備期間に時間を要することから、本協議会でリニューアルに関する議論や準備を進めることが得策かなと思っております。

今後はより定期的に協議会を開催し、リニューアルに関する議題を整理したうえで、お集まりいただこうかと考えております。その際には、委員の皆様からも様々な方のご意見を集約していただきたいと考えております。

(廣田委員)

ちなみに展示業者等は、すでに決定しているのですか。

(成海)

まだ、何も決まっていません。まずは、展示構成などの大枠を決めることから始める必要があります。

(廣田委員)

開館時には、展示業者から検討委員会に加わっていただいた。今回はどうするのか。

(渡邊)

最終的には、展示業者のセンスによるところが大きいと考えます。検討委員会で理念をしっかりと固めた段階で、展示業者からも検討委員会に加わってもらい、助言していただくような流れになるのではないのでしょうか。予算を伴うことなので、難しい部分もありますが…

(五十嵐会長)

複数社から参加してもらい、コンペ方式にするしかないと思います。

(成海)

次回以降の協議会で、リニューアルの骨子を固め、以降はプロポーザルで業者を選定する方向になると考えています。

(渡邊)

博物館が開館した時には、全国から視察に来られました。歴史系のコンパクトな博物館としては最もセンスに富んだ博物館だったので。だから、今日までリニューアルをして来なかったとも言えますが。ですから、ちよくちよく展示替えが必要なリニューアルではだめだと思いますので、委員の皆さんがおっしゃる方法できちんとしたものを作る必要があると思います。

予算的には、旗野マキ子さんからご寄付いただいた基金があるので、この基金を活用しながら、進めていかないといけない内容だと考えております。

(五十嵐会長)

ほかにご意見、ご質問がないようですので、第3号議案 常設展示のリニューアルにつきましては、事務局より提示された基本方針に沿って進め、今後の進め方につきましては、「リニューアル検討委員会」は設置せず、当協議会で今後検討・準備を進めることを当協議会の答申としたいので、承認される場合は、拍手でご承認願いたいと思います。

〈 拍手・承認 〉

(五十嵐会長)

ありがとうございました。

それでは、第3号議案 常設展示のリニューアルにつきましては、今回の答申に基づいて、事務局において準備を進めてください。

以上、第1号議案から第3号議案まで、すべての議案について、審議が終了いたしました。委員各位のご協力により、円滑な議事運営を行うことができました。大変ありがとうございました。それでは、議長の任を解かせていただきます。以降の進行は事務局にお返しいたします。

(成海)

五十嵐会長、大変ありがとうございました。

最後に、事務局より連絡事項がございます。

今回、常設展示のリニューアルにつきまして、本協議会で検討するとの答申でしたので、次年度準備が整い次第、会議を開催させていただきます。よろしく願います。

また、本日の委員報酬につきましては、4月中旬にご指定の口座にお振込みいたしますので、ご確認ください。

い。

最後に、皆様方より何かご意見や連絡事項はありませんか。

なければ、以上をもちまして、令和7年度「阿賀野市立吉田東伍記念博物館協議会」を閉会とさせていただきます。皆様、本日は長時間にわたる活発なご審議、大変ありがとうございました。お疲れ様でございました。